

しろね図書館だより



~ Since 2000 ~
No.124



発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
平成22年9月発行



いつもしろね図書館をご利用いただき、ありがとうございます。当館のあるラスベックは、平成12年6月にスタートし、今年6月1日で10歳の誕生日を迎えました。この記念すべき節目の年をみなさんと祝うため、講演会を開催いたします。しろね図書館にゆかりのある方々が集い、本と図書館のあれやこれやをトークします。どうぞおいでください。

白根学習館 開館10周年記念事業

人との出会い、本との出会い

第1部

講演「しろね図書館新館開館10周年によせて」

13:30~

栗村節子さん(元しろね図書館長。大阪を中心に、ストーリーテラや子ども読書活動推進者として幅広く活躍)による記念講演です。

第2部

絵本作家トーク「わたしの絵本づくり」

14:30~

長野ヒデ子さん・とよたかずひこさん——絵本作家のおふたりが、絵本の画像も交えながら、それぞれの絵本づくりについて語ります。

第3部

ミニポム「ちいさい人たちと本のつなぎ手になるために」

15:40~

栗村節子さんを司会に、長野ヒデ子さん・とよたかずひこさんたちが、このテーマについてトークします。

9月25日(土)

開場 / 13:00

入場無料・申込不要

会場 / 白根学習館
ラスベックホール

講演終了後サイン会あり

職場体験!
in summer

がんばれ、明日の図書館員!?

夏の夏休みは、街のあちこちで中高生の職場体験が行なわれたようです。しろね図書館でも、白根高校、白南中学校、白根第一中学校のみなさんに、図書館のシゴトを体験してもらいました。カウンターでの貸し出しのほかにも、重〜い荷物を運んだり、わずかな手がかりから本を探したり……思ったよりタイヘンな作業に悪戦苦闘!?

白根高校の実習生さんが、図書館をPRするイラストを描いてくれました。図書館には、こんなシゴトもあるんですよ。絵に自信のあるキミ! 次の職場体験に図書館はいかが? ~~ちょと~~か〜な〜り!? ハードだけだね。※イラストは館内に展示中



太陽の戦士

ローズマリ・サトクリフ 作
猪熊葉子 訳
岩波書店 1968年
Y933サ

様々な困難を克服し自己を確立し成長していく少年を鮮やかに描き出した傑作。普遍的な題材を卓越した描写力で表している。ティーンズコーナーの本だが、大人にも(大人にこそ)おすすめ。深い満足を得る。舞台は紀元前9世紀、青銅器時代のイングランド。9才の少年ドレムはある日、屋根裏に潜んで我が家を覗いていた。見慣れたものが違って見える。母親は燃えるような緋色の布を織っていた。勇気を表す戦士の緋色、オオカミをしとめ部族の中で一人前と認められた男だけが身につけることのできるもの。ドレムは当然戦士になり緋のマントを纏うつもりだ。ドレムが聞いているとも知らず、祖父が不機嫌に言い放った。「弓も使えず、どうして一人前の男になれる?」と。ドレムは右腕が不自由なのだ。今までそれが重要なこととは思っていなかったが、一瞬にして自分の運命を理解し言いようのない恐怖に襲われる。



図書館員が
おすすめする
この一冊
村山 裕子



いたたまれず家を飛び出したドレムは、森の奥で隻腕の獵人タロアに出会う。勇士タロアは、絶望に押しつぶされているこの小さな少年に、「千歳のきょうだい」と呼びかける。「もし、事が戦うにふさわしいことなら、戦え。道はある。まわり道もあれば、ぬける道もあるし、こえていく道もな。」一人前の戦士となり自分の場を獲得するために、ドレムは厳しい現実^に立ち向かっていく。かけがえのない友人との思いもよらぬ出来事。いつも近くにいた少女の存在。哀しみ、孤独、絶望、希望、歓喜……。創作物だが、安直な“作り物”ではない。リアリティがある。時代も所も超えて、この本の中の、一人悲しみにうずくまる少年はわが子^のようであり、自分の分身でもあるように感じた。

作者ローズマリ・サトクリフは1920年イギリス生まれ。「ともしびをかかげて」でカーネギー賞受賞。自伝「思い出の青い丘」もぜひ。

8月のキログ

らいかんしゃ
来館者……………24,402人
かだしささう
貸出冊数……………17,496冊
よやくけんすう
予約件数……………798件

※8月のブックバスは、お休みです。

※【予約ランキング】は、システム統合により予約のしくみがかわったため終了させていただきます。

南区 学校図書館支援センターから

夏休み中に学校図書館の地域開放が行われました。夏休み中も学校図書館を楽しく利用していますね。白根図書館では、8/3大通小、8/19白井小へ出前お話会に訪問。学校司書の読み聞かせタイムもありました。



写真は白井小学校の図書館です。

お友達と会って嬉しそう。



読書会は、みんなで同じ本を読んで、思ったことをおしゃべりする楽しい集まりです。

平成22年8月15日(日) 午後2時

アメリカひじき 火垂るの墓

野坂昭如 著 (新潮社)



1945年9月21日、

駅の構内で清太は死んだ。

所持品のドロップ缶に収められた、

白い骨にまつわる兄妹の悲しい記憶とは――。

親を亡くした幼い兄妹が、

終戦前後の混乱を生きぬこうとする

姿を描いた「火垂るの墓」など、

“焼跡闇市派”の異名をとる

著者の代表作6編を収めた短編集です。

★★★ 参加者の感想から ★★★

◆どうしても原作とアニメ版を比較してしま
うが、原作が短編だったことが意外だった。
アニメ版はドラマや演出の面で肉付けがある。
可愛らしい絵柄や焼夷弾などの兵器の作画の

リアリティも広く受け入れられるきっかけに
なったと思う。小説だけであのビジュアルを
想像するのは困難だろう。

◆一方、原作は独特の文体に始めは戸惑った。
句点が少なく息を切らずに文章が延々と続く。
あまり読んだことのないタイプの文章だったが、
戦争体験という強烈な経験を伝えるには、すっと
入っていく文章ではなく、読み手に能動性を強い
るような表現が必要なのかもしれない。当時と
現在の日本のあまりのギャップに驚かされる。

◆焼夷弾の実物を博物館で見てもその即物性に
ショックを受けたことがある。映画や小説を消
費して「可哀そう」で満足してしまうのは仕方
のないことかもしれないが、読書体験から現実
を考え直す経験も必要ではないか。

◆主人公は母が死ぬときは現実的な問題として
その死に対処していた感があるのに、父が死んだ
とわかったとき、本当に何もかも諦めてしまう。
その茫然自失の様子がよく描かれていると思う。

◆「アメリカひじき」についてだが、「火垂るの墓」
に続けて読むと、日本の様変わりした風景が描かれ
ていることに驚かされる。その変化を見つめる主人
公には敗戦の記憶とアメリカへの屈託があるの
だが、それがタイトルにも表れているのだろう。

◆作者が一時期新潟に住んでいたことも
あって、新潟の地名や方言が頻出する作品も
あり、その点でも興味深い。

◆小学生には少し難しいと思うので、興味を持っ
たら中学生くらいから読んでほしい。(田村)

次回の読書会

9月19日(日) 14:00~



この中の短編のひとつです。
ぜんぜん違う話になっ
ているのかもしれませんが、
それでもOK!

藪の中

芥川龍之介(または 森見登美彦) 著
※黒澤 明「羅生門」原作

藪の中で、一人の男が殺された。
この殺人事件をめぐる、7人の証言者の
告白によって物語は綴られる。
盗人、男の妻、そして殺された男(の霊)
……食い違い、矛盾する証言。
本当の犯人は?
事件の真相は果たして……?
大正時代に発表されて以来、
今なお真相が議論され続け、
解明を見ないというミステリアスな作品。



がまの皮

「がまの皮」は、新潟・茅野・名古屋で
小澤俊夫先生から昔話を学んだ人たちが、
再話しています。

ある日のしろね図書館のおはなし会でのこと。

「むかし、あったんがの。あるところに……」
と始まった新潟の土地言葉で語られた
むかし話をきいていて、小学1～2年生
くらいの女の子はキョトンとしていました。
聞いたことのない言葉だったのかもしれませんが。
耳から聞くおはなしの世界は、とくべつです。
本を読んでいるときにはわからなかったことが、
聞いているとわかることもあります。
たくさん聞いて楽しんでほしいと、
ボランティアで語ってくださる‘おはなしかご’
の方たちも、私たち職員も願っています。

昔話をあまり聞いたことのない人にも
土地言葉で語るときにも、最適です。
どうぞ手にとってごらんください。
そして、願わくは子どもたちと一緒に
身近なおじいちゃんおばあちゃんから
昔話を直接聞くことができますように！！

子どもたちといっしょに



がまの皮
子どもに贈る昔ばなし10
児童388本
小澤昔ばなし研究所



今月の展示架

■ 展示期間 9/2 →10/5



9月25日には、白根学習館10周年を記念して講演会が開催されます。
これにちなんで今月の展示架は、これまでにしろね図書館で
講演して下さった歴代講師の皆さんの本を特集します。
ちいさい子におススメの絵本から、自然環境について考えさせられる本まで。
しろね図書館10年のキセキを象徴するコレクションになりました。



学習館10周年記念 歴代講演 あの人、あの頃

9/4～10/5の行事

9月のブックバス

★9月1日～10月7日までの予定を載せています。
★巡回日-/の箇所(9/1,9/20,9/23)は運休します。

9月4日(土)

絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

9月25日(土)

雑誌リサイクル 10:00～
10周年記念講演会 13:30～
※絵本のじかんなどは
お休みします。

9月11日(土)

おはなしかご例会 10:00～
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

9月26日(日)

おはなしかご特別例会 10:30～
(栗村さんをかこんで…)
交流会“楽しくてうれしい
「おはなし会」” 13:30～

9月18日(土)

絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

10月2日(土)

絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

9月19日(日)

読書会(ル42) 14:00～

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	庄瀬小学校	12:55～13:35	9/6 -/ 10/4
火A	大通小学校	12:50～13:30	9/7 9/21 10/5
木A	新飯田小学校	10:10～10:30	9/9 -/ 10/7
	味方小学校	13:15～13:45	9/9 -/ 10/7
月B	根岸小学校	児童限定	9/13 9/27
火B	小林小学校	児童限定	9/14 9/28
	白根小学校	13:00～13:40	9/14 9/28
水B	白井小学校	13:00～13:30	-/ 9/15 9/29
木B	茨曾根小学校	10:15～10:35	9/2 9/16 9/30
	大鷲小学校	児童限定	9/2 9/16 9/30